

第五回齋藤ゼミ議事録

2020/5/27(水)

担当：鈴木

1. 連絡事項

- ・合宿：学生部からの支援(2000円×2泊)、商学部からの支援(3000×3泊)
- ・支援金の申し込み Cplus から

2. 朝一

- ・山内：サーバー需要獲得競争
→新型コロナの影響で通信料が1.5倍、中国サーバー大手のインスパイアが日本に参入
- ・鈴木(采)：接触検知アプリ 60カ国に広がる
→米アップルとグーグルがアプリを共同開発、データ管理の透明化が課題

3. 企業研究発表

企業：アリババ

担当：徂徠・趙・生南

○基本情報

創業者：ジャック・マー(1999年創立)…積極的な女性従業員の採用

本社：杭州

従業員数：約10万人(男：女=5：5)

○“独身の日”

中国の独身の日(11月11日)に販促イベントを開催し、生中継のネット販売「タオバオライブ」を行う。

2019年には取引額が1日で4兆2千億円。(=日本でのアマゾンの1年間の利益)

○事業

Eコマースから、決済、物流、マーケティングなど幅広く事業を展開。

- ・マーケットプレイス：「タオバオ」(中国)、「アリエクスプレス」(世界中)
- ・物流データプラットフォーム：「ツァイニャオネットワーク」
- ・QRコード決済サービス：「アリペイ」…シェア54%
→日本進出：中国人観光客用／「ペイペイ」との提携
- ・新型コロナ流行で「健康コード」の導入
→健康証明および通行許可証として使われ、健康コードなしでは自由な外出もできなかった。

○今後の展望

- ・アリババ・ビジネス・トランスフォーメーション

→DXを支援するソリューション。アリババの持つ各種機能やデータを統合し、ニーズに対応できる。

- ・フーマー

…無人レジ(QR決済、顔認証)／生鮮食品配送／ロボットレストラン

- ・Ding Talk(中国版 zoom)

→中国：ネット統制があるため普及、日本：SB Cloud と Ding Talk Lite 開始

※ゼミでも使ってみる(?)

○新型コロナでの巣ごもり消費で追い風→売上高 22%増

- ・ニューノーマル(新常態)への先行投資

4. 合宿

テーマのアイデア募集中(6月中旬ごろ決定)